

INFORMATION

令和5年度 地域の女性リーダー応援事業
地域の女性リーダー養成塾 in 仙北市

持続可能な地域のために 私たちができること

物事を決める意思決定の場では多様な意見が反映されることが大切です。持続可能な地域のために女性のチカラが求められています。

- 日時：11月11日（土）13:30～15:30
- 会場：温泉ゆぼぼ本館 1階バンケットホール紫苑
- 講師：加賀谷七重さん
（エンパワーメント with 代表/あきた F・F 推進員）
- 参加費：500円（交流会費）
- 定員：15名（定員になり次第締切）

講座申込・問合せ：南部男女共同参画センター

電話：0182-33-7018 FAX:0182-33-7038 E-mail:sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp

令和5年度
団体・グループ等の活動支援のための研修会等事業

表情の力 再発見 ～今日からできる 自然な笑顔をひき出す5つの体操～

顔と口の運動不足による影響や筋肉の使い方による印象の違いなどについて、表情の専門家から学びます。

- 日時：11月30日（木）13:30～14:30
- 会場：美郷町公民館（美郷町飯詰字北中島 37-1）
- 講師：中川よし子さん
（美表情塾主宰/あきた F・F 推進員）
- 参加費：無料 どなたでもご参加いただけます
- 申込締切：11月24日（金）



あなたの“いきいき”応援します。

★きらめき★

発行 2023年11月

秋田県南部男女共同参画センター
（愛称：南部ハーモニープラザ）
〒013-0046 秋田県横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7018 FAX.0182-33-7038
http://www.akita-south-jender.org/
E-mail sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp

秋田県南部男女共同参画センター通信 ★第129号

実施報告

令和5年度 地域の女性リーダー応援事業

女性のチカラを信じ、支え合う 持続可能な地域に

地域の女性リーダー応援講座 in 美郷町

8月9日（水）美郷町中央ふれあい館にて、24名にご参加いただきました。横手市ほろわ地区交流センター長の阿部美紀子さん（坂部婦人会長/助け合い組織「さくら会」会長）から、地域の現状や活動等についての事例発表をしていただきました。また、八嶋英樹さん（秋田県南NPOセンター理事）からは、女性活躍を推進するための課題と災害に強い地域づくりなど、住民が安心して暮らしていける持続可能な地域のために何が必要か等についてお話いただきました。

◆◆◆参加者アンケートから「印象に残ったことや感想」◆◆◆

●地域で声をあげる、行動を起こす・サーバントリーダーの組織●女性の活躍がきちんと見える社会に●コミュニティーワーカーがカギ●リーダーになるために仲間をつくるのが大事●自分の意見をはっきり言う大切さとリーダーになるために仲間をつくるのが大事など、参加者からはたくさんの方の気づきがあった内容の感想が寄せられました。



地域の女性リーダー応援講座 in 横手市

9月26日（火）横手市交流センターわいわいぷらざにて、講師に門脇光浩さん（市民活動あきた代表理事/前仙北市長）をお迎えし、39名にご参加いただきました。第一部の講演では、平塚らいてうから現在までの女性の活躍と国や地方の動きについて説明いただきました。また、仙北市の農家民宿は母さんたちが主役「なぜ女性活躍が必要なのか」について話されました。性別に関係なく、自分の〇〇がしたい、〇〇になりたいという思い「やるのか、やらないのか」は具体的に強い気持ちを抱けるかにかかっている。目に見えないものの中に尊いものがあるなどの言葉が印象的でした。第二部は奥真由美さん（SailOn



Japan 代表理事/あきた F・F 推進員）がファシリテーターを務め、フリーディスカッションを行いました。参加者からの質問に答えたり、二人がそれぞれに取り組んでいることや自身の家庭での共同参画についての紹介等がありました。子供たちへの郷土愛の醸成と、次世代を育成していくことが女性の活躍と地域づくりの活性化につながると話されました。

お知らせ

11月は「児童虐待防止・DV防止推進月間」です

秋田県は11月を児童虐待防止・DV防止推進月間としています。11月12日から25日まで「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。新型コロナウイルス感染症等の影響により家庭内のDVが増えています。暴力は身体的暴力だけでなく、精神・心理的、経済的、社会的、性的などの暴力があります。ひとりで悩まず相談してください。また、児童虐待かもしれないと思ったら迷わずお電話してください。

相談窓口

- ◆秋田県女性相談所 ☎018-835-9052（相談専用）
（平日 午前8時半～午後9時 土日祝日 午前9時～午後6時）
- ◆DV相談ナビ ☎#8008
（全国統一の電話番号を通じて最寄りの相談窓口を案内するサービスです）
- ◆南福祉事務所 ☎0182-32-3294（県南地域）
（平日 午前8時半～午後5時15分）
- ◆あきた性暴力被害者サポートセンター「ほっとハートあきた」
☎0800-8006-410（平日 午前10時～午後7時）
※男性の相談者には男性コーディネーターが対応します。

児童虐待相談窓口

- ◆全国共通ダイヤル ☎189
（通話無料・最寄りの児童相談所につながります）
- ◆秋田県中央児童相談所 ☎018-827-5200
※24時間対応で無休です。
連絡は匿名で行うことが可能で、連絡者や内容に関する秘密は守られます。

南部男女共同参画センターの開館時間の変更について

いつもセンターをご利用いただきありがとうございます。令和6年4月1日より、利用時間及び休館日が変更になります。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ◆変更点 ①平日の利用時間 午前9時から午後6時まで
- ②休館日 木曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

編集後記 毎年12月4日から10日は人権週間、今年で75回目（75年目）です。ドラマの主人公が「いじめは加害者側に問題がある、海外ではいじめた人をケアする」と言っていました。日本はケアをしているのでしょうか？国連が定めた人権デー（12月10日）ですが、加盟している国が武器を使い争いをしていることに驚きです。人権週間を機会に身近にある人権について考えてほしいと思います。（小山）

事業報告

令和5年度 女性の管理職やリーダーを育成するための研修会等事業
次世代リーダー応援セミナー1

管理職はおもしろい ～階段を登ると見える風景～

8月21日(月)大仙市はなび・アムにて、企業にお勤めの女性(リーダーや管理職を目指す方、現在リーダーや管理職の方)25名(10社・団体等)にご参加いただきました。講師はライフキャリアコーディネーターの佐藤文枝さん(ゆい企画代表/あきたF・F推進員)をお迎えし、職場でイキイキと働くための関係性やモチベーション



等について学びました。参加者アンケートには「我慢する人から、提案をする人になりたい」「リーダー職半年、とても自信につながり、やる気ができました」「笑顔の周りには笑顔が集まる、一人ではなくて三人で戦うなど、とても為になりました」「リーダーになるための準備を今からしたい」などの感想がありました。



次世代リーダー応援セミナー2

ともに輝く！女性管理職のための楽しむコミュニケーションセミナー

10月3日(火)大仙市はなび・アムでのセミナー2回目には、1回目から続けての参加者も多く22名(11社・団体等)にご参加いただきました。講師はキャリアコンサルタントの高橋玲子さん((同)Linpeace代表/あきたF・F推進員)をお迎えし、短所を長所に変えながら、自分らしい活躍方法



を見つけることの大切さ等について学びました。参加者アンケートから、「タイプによってコミュニケーション方法が違うことを知り、とても有意義だった」「一人ひとりの方向性を導いていきたい」「立ち直れないようなことがあった時は自分軸を大切にすることが印象的でした。改めて自分の軸、価値観を見つめ直してみたい」「受講するたびに自信がつかます」などの感想があり、学びにつながったことがうかがえました。

令和5年度 男女共同参画社会づくりに関する基礎講座

やさしさでつながる人と人 多様性を知る考えるセミナー

9月20日(水)湯沢勤労青少年ホームにて、講師に結婚相談所&LGBTご縁相談所maricoco代表カウンセラーの松倉みほ子さん(あきたF・F推進員)をお迎えし、湯沢市民大学受講生と一般の方あわせて42名にご参加いただき開催しました。多様性の意味や「多様性を認め合う社会」について世界や政府、行政や企業の取り組み、SDGsや秋田県多様性に満ちた社会づくり基本条例について説明がありました。また、少数派について、多数派に属している時に人は少数派に対して無頓着であるとし、左利きの不便さを例にしてLGBTQについてもふれました。否定や押し付け、排除せず知る機会を大



切にして、多様性を受け入れ誰もが幸せな未来を描ける優しい社会になってほしいと締めくくりました。「今まで考えていなかったことに気付かされました」「子育てにも直結する課題、これからも考え続けたいです」「ダイバーシティやマイノリティなど理解できていなかったことがわかったので良かった」など、参加者が多様性について考える機会になったことがアンケートからうかがえました。

事業報告

令和5年度 男性の家事・育児と仕事の両立を促進するためのセミナー事業
カジダン・イクメンのススメ もう一歩先へ

9月3日(日)南部男女共同参画センターにて、本田正博さん((同)あきたこまちネット代表/ファザリング・ジャパン東北事務局長)を講師に迎え開催しました。15名にご参加いただき、男性と女性に分かれてパパさん、ママさんの悩みやパートナーへの言い分などを共有し、解決にむけ参加者で意見交換をしました。同日午後から、悩み解決や子育てをしながらパートナーとより良い家庭を築くための意見交換を行い、指針が完成しました。事前にいただいたアンケートのお悩み解決にも通ずる内容になりました。



カジダンイクメンのススメ 三カ条

【家事】やれない事をカバーしあう

コミュニケーションを取ってパートナーや家族の『やれない』『やりたくない』『苦手』を理解して互いをカバーし合う

【育児】パパも育児のメインキャスト

子育ては期間限定(中学卒業まで5,475日/36,500日)

子どもを真ん中にパパもステージへ

【夫婦】完璧は争いを呼び、8割は幸せを呼ぶ

ココロとカラダにゆとりを持ち、お互いの理想を押し付けない

実践のコツは
感謝・共感

秋田県 主催

咲きほこれ！あきたウーマンパワー応援事業

あきたの男女共同参画連携会議

9月24日(日)秋田市アトリオンにおいて、男女共同参画推進に関わる方々(あきたF・F推進員・女性人材登録名簿登録者・市町村担当者・男女共同参画センター等)が集まり、ネットワークの構築と秋田県の男女共同参画の目指す姿を共有し、相互連携の仕組みを整え、事業が効果的に推進されることを目的に開催されました。講師は国立女性教育会館理事長の萩原なつ子さんで、萩原さんは「昭和21年の衆議院議員選挙で女性39名の当選から現在の女性衆議院議員数は46名であり、人々の意識、政策、制度等が依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままである。無意識の偏見を含む、固定的性別役割分担意識に基

◆主催者挨拶 丹治純子(秋田県理事)

◆事例発表①

「横手市における男女共同参画事業の取り組みについて」
石橋菜穂子さん(横手市地域づくり支援課)

◆事例発表②

「あきたF・F推進員としての地域活動について」

長谷川聖史さん

(パパ'sサークルピーターパン代表/あきたF・F推進員)

◆基調講演「令和のジェンダー平等

～持続可能な地域社会を目指して～

萩原なつ子さん(国立女性教育会館 理事長)

◆分科会①「男女共同参画を語る“さんかくカフェ”」

ファシリテーター：松坂憲男さん・鎌田江利子さん・松田順子さん

分科会②「キャリア形成のためのメンタルの整え方」

ファシリテーター：小山田聖子さん・小野まゆみさん

分科会③「誰もが暮らしやすいまちづくりワークショップ」

ファシリテーター：萩原なつ子さん



く構造的な問題の解決が必須であり、地域づくりの基本は多様性を理解し、公平・公正な考え方が重要である」と話されました。

← 萩原なつ子さん



●南部男女共同参画センターが主催した分科会②のファシリテーターを務めた小野まゆみさん(左：森の保健室室長)小山田聖子さん(右：オリジナルスマイル研究所/あきたF・F推進員)